アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 100／ 2015 年 5 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」　第100号　をお届けします.

【1】2015年度アンテナ・伝播研究専門委員会の体制

電子情報通信学会は，6月に開催される平成27年定時社員総会をもって新年度の体制に移行します．これに伴い，アンテナ・伝播研究専門委員会も新体制に替わります．新しい体制での2015年度上期研究専門委員会は，6月11日（木）に機械振興会館で開催されます．

委員長	長　敬三	千葉工業大学
副委員長	岩井　誠人	同志社大学
幹事	中野　雅之	KDDI研究所
幹事	西森　健太郎	新潟大学
幹事補佐	木村　雄一	埼玉大学

【2】6月A・P研開催の御案内

2015年6月のA・P研は，11日に機械振興会館で開催されます，7件の一般講演に加え，A・P研表彰式，そしてIEEE AP-S Japan Chapterと共催で，千葉大学の伊藤公一先生により，「人体近傍で用いるアンテナとその特性評価」というタイトルで特別講演がございます，皆様，ふるってご参加ください.

【3】A・P研　委員長退任の挨拶（新井　宏之）

委員長としての任期を無事全うすることができたのも長副委員長と幹事団の皆様の献身的な貢献のおかげです．紙面をお借りして改めて感謝させていただければと思います．月例の研究会に加え二種研や海外開催など学会に明け暮れた日々でした．運営は幹事や幹事補佐の方にお任せしましたが，全ての発表を聞いて，「よい発表にはよい質問を」を心掛け，学会に参加して何かためになることがあったと，発表者や参加者の方に感じていただけたら委員長としての役割を果たせたのではないかと考えています．アンテナ・伝搬というと領域が狭いと感じるかもしれませんが，電磁界応用としてみればまだまだ大きな発展の余地があると信じています．今後は一研究者としてその発展を担うことができればと考えております．2年間ありがとうございました.

【4】A・P研　幹事退任の挨拶（榊原　久二男）

このたび，2年間の幹事の任期を終えることになりました，名古屋工業大学の榊原です．2年前，このAP研のお知らせの6月号で，就任の挨拶を書きました．改めて文面を読み返してみると，国際化，特にアジア各国との連携を進めることを目標としており，当時のやる気に満ちた思いが思い出されます.

自己評価してみると，ベトナムとの合同会議VJISAPを前任の幹事から引き継いで開催したこと，韓国との合同会議KJAPからタイも含むアジアの国際会議AWAPに拡大したこと，さらにこの6月にはマレーシアとの合同会議MJWRTを新設したこと，このようにAP研はずいぶん国際化が進んでおり，ある程度は目標が達成できたのではないかと思います.

幹事の間，アクションアイテムを書き込むために購入した手帳があります．その中には，やることを忘れないように，メモがびっしり書き込まれており，2年間で1冊がほぼ一杯になりました．そのところどころに，異国の人と会話をしたときに書いたメモも生々しく残っています．中国や台湾の人とは，漢字の筆談で会話をしましたし，ベトナムの人と会話するためには，便利なベトナム語をいくつか，その発音と和訳を書き込んでいます．この手帳は，幹事時代の思い出として大切にしたいと思います.

幹事の仕事は健康も財布も家庭も大変でしたが，AP研執行部をはじめ，専門委員，各種委員，研究会や大会にご参加のすべての皆様に支えられて，なんとか任期を全うすることができました．御礼申し上げます.

微力ながら，今後もAP研やISAPの活動のお手伝いをしたいと考えております．今後ともどうぞよろしくお願いいたします．

【5】副委員長の戯言

AP 研からのお知らせが今号で 100 回目を迎えました．100 回を記念し，今まで執筆を担当された副委員長の皆様からお言葉をいただきました．歴代副委員長の皆様，ありがとうございました．

「戯言を　楽しみとする　人ありき　100 回記念に　あっと驚く」（初代担当：福井大学　堀　俊和先生）

AP 研からのお知らせは，堀初代副委員長のライフワークだと思っていました．それが代々の副委員長に引き継がれ，100 号になるのですね．それにしても，執筆した文章をあらためて読んでみると，稚拙で恥ずかしくなります．（二代目担当：金沢工業大学　牧野　滋先生）

2000 年から 2010 年の 10 年間で劇的な変化がありました．私が AP 研副委員長を務めていたのはこの最後の方ですが，PC とインターネットの発達で多くの会議で紙が消滅しました．書類の郵送，紙の運搬がなくなり，外国出張が随分と楽になりました．また，GPS ナビゲーション，メールによる報告，デジカメ，携帯端末による写真記録，放送のデジタル化とそれに伴う携帯電話，ナビゲーション機器での TV 視聴など数々あります．デジタルネイティブという言葉が生まれ，韓国では小学校の授業から紙をなくすというニュースがありました．表音文字の国は可能かもしれないが，表意文字(漢字)の習得には紙と鉛筆が必須と思っています．将来は，ディスプレイとタッチペンが紙と鉛筆の代わりになるのかもしれませんが，書いてから表示されるまでの時間遅れが気になります．高速のデバイスが出現して，この問題も将来は解決されるのか，楽しみです．（三代目担当：(株)放送衛星システム　正源　和義様）

100 号おめでとうございます．また，ここから，そして，このときから新たな歴史が作られることになりますが，いつまでもこのコーナーがオアシスのような場であって欲しいと願っております．（四代目担当：名古屋工業大学　菊間　信良先生）

私のAP研からのお知らせの担当も今号で最後となりました．最後の担当が記念すべき100号となり，非常に嬉しく思っております．信学会の研究会は数多ありますが，毎月研究会を開催している研究会はほとんどありません．AP 研からのお知らせでは，毎月の研究会活動に加えて，ワークショップや論文特集の企画，AP 研主催国際会議など AP 研の活動の広報が数多くあり，このコーナを担当して，改めて活動の活発さを実感致しました．戯言については就任時にも述べましたが，歴代の副委員長の皆様の戯言がすばらしかったため，プレッシャーも大きかったです．またこのコーナを担当する前はあまり意識していなかったのですが，戯言の読者が想像以上にいらっしゃったのには驚きました．なかなかご期待に沿える記事を書けませんでしたが，皆様からの叱咤激励のお言葉が何よりも励みになりました．この場をお借りして，読者の皆様にお礼申し上げます．次号からは新副委員長が担当されますが，引き続き皆様の温かいご支援をいただけますようお願い申し上げます．

最近のAP研の活動は国内にとどまらず，アジアでの活動もかなり活発になりました．このAP研の国際化は，今回退任される新井先生，榊原先生の献身的なご尽力なしには実現できなかったと思います．感謝致しますとともにお礼申し上げます．大変お疲れ様でした．

私もこの6月で副委員長を退任いたしますが，引き続き委員長としてAP研の活動に携わることとなりました．2007 年に IEEE APS Japan Chapter の執行部に Secretary として携わってから丸 8 年，執行部の立場で AP 研に参加させていただきました．少々疲れも出てきていますが(^^…)，歴史ある AP 研の委員長を担当することとなり，大変光栄に思うとともに，その責任を改めて感じているところです．【1】に次年度の体制を示しましたが，幹事の中野さん，幹事補佐の木村先生をはじめ，新たに執行部に岩井先生，西森先生に加わっていただき，執行部体制は盤石です．AP 研の活動が益々活発になるように，微力ながら貢献していきたいと思いますので，引き続き皆様のご支援のほど，よろしくお願いいたします．（五代目担当：長　敬三）

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　　長　敬三（千葉工大）
E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET : AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!!　登録はAP研HPにて
AP研HP : http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/
ISAP Archives :　http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/